

第7号様式(第4条関係)

まちづくりアドバイザー登録票

| | |
|---------------|--|
| ふりがな | ちゅうじょう りゅういち |
| 氏名 | 中條 隆一 |
| 所属(勤務先) | まちなみ景観課へお問い合わせください |
| 連絡先 | |
| 専門分野 | 都市計画一般 |
| 支援可能事項 | <input type="checkbox"/> ✓まちづくりの進め方(ワークショップなど)について <input type="checkbox"/> ✓まちづくりの事業手法や制度について <input type="checkbox"/> ✓まちづくりの計画・ルールづくりについて <input type="checkbox"/> 建築制限、開発制限について <input type="checkbox"/> 不動産鑑定、税務、法律について <input type="checkbox"/> ✓防災まちづくりについて <input type="checkbox"/> その他(緑化・景観形成・ビオトープ・バリアフリーなど) |
| 支援可能事項における実績等 | <p>①まちづくりの進め方について 長年、プランナーとしてまちづくりに当たる中、最近、農村公園計画で住民参加により現地の魅力を見つけ出す手法を取った。まちづくりではないが、「車椅子ガイドマップ」を作った際、障害者支援団体の協力で課題抽出を行うなど、ワークショップの進め方は心得ている。</p> <p>②まちづくりの事業手法や制度について 都市計画コンサルタントとして、まちづくりの事業手法や制度について熟知は必要だが、自ら景観条例案検討に携わったこともあり、なおさらその意識を有する。それだけにとどまらず、難解な言葉をわかりやすく、一般の人に伝える能力が備わっている。</p> <p>③まちづくりの計画・ルールづくりについて 02年より執筆活動を始め、04～06年にコラムが野球雑誌で連載された。一編に著した「河川敷グラウンドの危機」は、環境重視で淀川河川敷からグラウンドを追い出す方針のもと、活動場所が失われる少年チームが向き合う苦労を描く。そして、人口稠密地域におけるスポーツ空間確保という難問を、まちづくりの計画・ルールづくりで解決する方策をまとめた。</p> <p>④防災まちづくりについて 阪神・淡路大震災後や市町村合併に伴う地域防災計画改訂業務の企画書づくりに関与した。昨年から今年にかけては、葛飾区で「洪水ハザードマップ」作成に携わった。このため、防災知識を持ち、計画立案技術にも精通している。</p> |
| 論文その他の実績等 | <ul style="list-style-type: none"> ・四條畷市堂尾・栗尾池周辺の自然環境整備計画(せせらぎ第12号) ・地域資源を活用したまちづくりへの取組(地域政策研究第6号) ・合併都市の中心核づくりの取組(地域政策研究第12号) ・まちづくりのなかでのバス交通の役割(地域政策研究第13号) ・河川敷グラウンドの危機(ベースボール・クリニック04年11月～05年4月号)など |

その他PR事項

プランナーとしての経歴を大別すれば、80年代は都市構造、緑化、公園、河川環境整備、90年代が広域・複合的リゾート開発、地域振興、景観形成、農村環境整備など、2000年以後は福祉などの計画を作る中で、まちづくりにかかわってきた。

01年以後は、審議する側に立っても課題と向き合い、地元市の行政支援バス運行、少子化に伴う学校統合などの検討委員会メンバーを歴任し、現在は「市民提案型まちづくり事業補助金」委員会で、応募審査や制度運営を務めている。加えて最近、執筆にまで活動の幅が広がり、メディアを介し関連意見を発信している。

そうした事実をふまえ、市がアドバイザーに求める「まちの魅力・課題発見手法や関連制度の紹介」「地域で取組むイベントの提案」「地区まちづくり計画案の作成支援」の各役割において、自らをPRすると以下のとおり。

①まちの魅力・課題発見手法や関連制度の紹介

まちづくりは、住民自らが現地の魅力・課題を知ることには始まるのは言うまでもない。そこで支援者側には、発見の誘導が求められるが、その点で私はうまく臨機応変に振る舞う技術を持つ。

また、コンサルタントだから、諸制度の紹介・解説用パンフレット資料を設計した経験があり、さらに聴衆を前に話の起承転結をうまく組み立て、わかりやすく述べる能力が備わっている。

②地域で取組むイベントの提案

最近、地元市で「市民提案型まちづくり事業補助金」制度の委員会メンバーを務め、市民グループ活動に多く触れてきた。一方で、着想を具体的な形に仕立てることは、元来得意だ。したがって、上記で知った参考事例と自ら有する論理の構築力を生かし、まちづくりのテーマに結び付く効果的なイベントを提案できると思う。

③地区まちづくり計画案の作成支援

長くコンサルタント業務に携わる中で、住民意見をふまえる計画作成は多くこなしてきた。したがって、まちづくり会議の際、合理的な議事運営や調整に手慣れる。

また、本業のかたわら、02年よりアマチュア野球を扱う寄稿を始め、04～06年にコラムが月刊雑誌で連載された。執筆の取材でレポーター経験を重ね、人から話を引き出すすべを心得ている。今後、退職する団塊世代はまちづくりを担う予想が立つが、彼らと年は近いのでフランクに接しやすく、なお、その特性を発揮できる。